

診療情報使用に関するお知らせ

『研究課題名 鼻骨骨折整復におけるポータブルエコー(Venue40[®])の有用性の検討』

【研究の背景および目的】

Venue40[®]は鼻骨骨折の術中評価に使用する超音波診断装置(以下ポータブルエコー)です。鼻骨骨折の整復においては、良好な整復位・外鼻形態を得ることが重要です。しかし、その評価は術者の主観的評価により行われてきたのが現状です。そこで、術中の評価方法としてポータブルエコーを使用することにより、客観的に整復位を評価でき、良好な整復位を得ることができ、過去にポータブルエコーを使用して術中評価を行った症例を後ろ向きに観察調査し、Venue40[®]の有用性を検討することを目的とし、本研究を計画しました。本研究により、非侵襲的かつ簡便に良好な整復位を得ることができ、治療の発展に貢献できると考えています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2017年11月～2018年12月までに東邦大学医療センター大森病院形成外科において、鼻骨骨折整復の手術を受けた症例(19例)を対象とします。

診療録(カルテ)に記載されている診療情報や術前後に撮影した外鼻外観の写真、術中に撮影したエコー画像、術前後に撮影した画像情報(CT検査など)をもとに、①エコーによる鼻骨の描出について②操作性や移動のしやすさなど使用時における利便性③術前後の外観上の外鼻形態と術前後CTの鼻骨形態について後ろ向き調査を行い、有用性を検討します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
形成外科学
職位・氏名 准教授・荻野 晶弘
電話 03-3762-4151 内線 77625